

患者様とご家族へのお知らせ

「ロタウイルスワクチンによる患者発生動向と費用対効果の調査」へのご協力依頼

ロタウイルス感染症は乳幼児の急性胃腸炎の原因であり、入院率の高い疾患です。現在、ロタウイルスワクチンが任意予防接種として発売されており、中津市、宇佐市では 2016 年度より公費助成が開始されました。豊後高田市でも 2018 年度より公費助成が開始されました。一方、豊前市、築上郡各町（築上町、上毛町、吉富町）では医療費の公費助成があるものの、ロタウイルスワクチンは助成していません。

この研究は、予防接種率、入院患者動向の変容、それによって生じる費用対効果を、郡市で比較検討し、医療費助成と予防接種公費助成のどちらが感染症発生を抑制するか検討する目的があります。2018 年 4 月 24 日より 2020 年 3 月 31 日まで。当院小児科にて実施します。本研究は当院の倫理委員会での承認を得ています。

2014 年度以降の毎年度の当院小児科におけるロタウイルス感染症、ノロウイルス感染症、その他の急性胃腸炎による入院、外来数と、医療費を、中津市、宇佐市、豊後高田市、豊前市、築上郡毎に算出します。また、賃金センサスをもとに 20・30 代女性の平均収入を計算し、入院による付添の保護者の生産性低下額を算出します。同期間におけるロタウイルスワクチンの、それぞれの郡市の医療機関への入荷数を、ジャパンワクチン株式会社、MSD 株式会社の協力のもと計算し、出生数をもととした推定予防接種率を計算します。中津市、宇佐市においては、予防接種数から助成額を計算します。これらをもとに、ロタウイルスワクチンの公費助成による、感染症発生動向の変容と、費用対効果を算出します。

患者名など個人情報扱いません。研究者も個人を特定することはできません。得たデータは鍵のかかる部屋（副院長室）で保管し、研究終了後 3 年後にシュレッダーで破棄します。

この件に関して、ご質問やご自身を総入院数、総医療費から外して欲しいとのご希望があれば研究代表者（当院副院長）の是松聖悟までお問い合わせ下さい。0979-22-2480（病院代表）

参考文献：是松聖悟ほか. 公費助成による任意予防接種と医療費控除の小児医療、地域社会への影響. 日児誌 2012;116:1380-1386.